

## 『哲学の探求』第36号刊行にあたって

『哲学の探求』は、毎年開かれる哲学若手研究者フォーラム(略して若手フォーラム)の成果を収めた雑誌です。今号掲載の論文も、すべて2008年7月19,20日に開催された若手フォーラムにおけるテーマレクチャーと個人研究発表が基になっています。テーマレクチャー「スピノザとライブニッツ」では、上野修(大阪大学)、松田毅(神戸大学)、山内志朗(慶応義塾大学)各氏に講演をいただき、幸運にも今号に収録することができました。個人研究発表からは、若手研究者による計7本の論文が収録されています。ですので、今回も第一人者による最新の研究成果と、若手による意欲あふれる研究の両方をご覧いただけるようになっています。

さて、2009年度の若手フォーラムは、2009年7月18,19日に東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催予定です。テーマレクチャーは「分析美学の現在」と題して、分析哲学的なアプローチから美学に取り組みされている、清塚邦彦(山形大学)、西村清和(東京大学)、三浦俊彦(和洋女子大学)三氏をお招きし、その最先端の研究についてお話していただきます。詳細は165頁にありますので、ぜひご覧ください。

フォーラム当日は、テーマレクチャーも個人研究発表もともに十分な質疑応答の時間を用意しております。懇親会、二次会と続きますので、哲学三昧の1泊2日となるでしょう。個人的な感想ではありますが、このご時勢でとても安上がりに贅沢な気分が味わえると思います(宿泊施設もなかなかのものです)。みなさま奮ってご参加くださいませ。

2008年度・世話人総務担当  
國領 佳樹